



人工芝で
色々なスポーツに
挑戦しよう！

洞爺湖町月浦運動公園

ポロモイスタジアム オープン

洞爺湖町月浦運動公園「ポロモイスタジアム」が完成し、4月1日、竣工式典とオープンを記念したこけら落としマッチが行われました。

竣工式典では、NPO法人洞爺にぎわいネットワークの福井政吉理事長が「洞爺湖町に新たなにぎわいがうまれることを期待している」とあいさつし、続いて真屋町長が「町民の健康増進や全道からも愛される施設にしていきたい。スタジアムで汗をかけた後は、洞爺湖温泉で良い湯につかってほしい」とオープンを祝いました。

キックインセレモニーでは、真屋町長がキッカーとなり、北海道コンサドーレ札幌のマスコットキャラクターのドレクんとPK対決を行い、見事ゴールを決めました。

式典後には、オープンを記念してこけら落としマッチ2017U-12CONSADOLETOYACUP(株式会社コンサドーレ主催)が開催され、北海道コンサドーレ札幌U-12などの少年サッカークラブチーム12チーム約1

50名が出場しました。選手たちは、人工芝の新しいピッチの感触を確かめながら、熱戦を繰り広げました。

旧月浦小学校跡地を活用したポロモイスタジアムは、町との協定に基づき株式会社コンサドーレが監修。

グラウンドは、スポーツ専用の優れた衝撃吸収性がある人工芝「ハイブリットターフ」を使用し、サッカーで利用する場合には公式競技用は1面、ジュニア用は2面を確保でき、夜間照明を設備しています。



**NPO 法人
にぎわいネットワーク
理事長 福井政吉 さん**

NPO法人洞爺にぎわいネットワークでは、ポロモイスタジアムの管理運営を行っています。

洞爺湖ワンストップサポート事業で、宿泊施設や活動場所の確保などの窓口を一本化しています。

事業を利用いただければ、他地域の方でも減免を受けることができます。そこが他にはない魅力だと思っています。

すでに、道内だけでなく、全国から合宿利用などの問合せ、申込みがきています。

洞爺湖町にまた一つにぎわいの拠点ができたので、皆さんに可愛がってもらえるスタジアムになってほしいですね。



キックインセレモニーでゴールを決める真屋町長